

令和3年度 一般社団法人福島県臨床衛生検査技師会定期総会次第

議案審議

第一号議案

- 1) 令和2年度事業報告
- 2) 令和2年度会計報告
- 3) 令和2年度監査報告

第二号議案 令和3年度事業計画

第三号議案 令和3年度予算

第四号議案 第53回福島医学検査学会、令和4年度総会開催支部

第五号議案 その他

報告事項

令和3年度表彰者

議 事

【第一号議案】

令和2年度事業報告

令和2年度 一般経過報告

令和2年度一般社団法人福島県臨床検査技師会では、「第69回日本医学検査学会」を山寺学会長のもと福島県主催で準備を進め、新型コロナウイルス感染拡大の影響により会期・会場を変更し9月5日～6日に千葉県の幕張メッセ国際会議場にて学会初の現地およびWEBの併用で開催しました。また、日臨技で医師の働き方改革に伴う臨床検査技師のタスクシフト・シェアを進めるための事業啓発ビデオをホームページに掲載したことを受けて、福臨技では会員へビデオ視聴を促すとともに、今後の法改正に伴う厚生労働省指定講習会への受講に向けた周知及び啓発を行いました。

〈学術活動〉

- ・ 各部門・分野主催の研修会は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためWEBでの開催が主となりました。
- ・ 学術講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

〈精度管理事業部〉

- ・ 精度管理事業部は昨年と同様に8部門で実施しました。参加施設は66施設で、報告会はWEBにて開催され約200名が参加しました。
- ・ 県からの委託事業として衛生検査外部精度管理調査事業を行いました。

〈日臨技精度保証施設認証制度事業〉

- ・ 令和2年度は、継続施設8施設に新たに3施設加わり11施設となりましたが、全国的にみて認証施設が少ない状況です。対象施設には更なる啓蒙活動をしております。

〈公益事業〉

- ・ 放射線医学県民健康管理センター県民健康調査課より1回の血糖検査の依頼があり会員を派遣しました。

〈広報活動〉

- ・ 災害時安否確認システムの完成に伴い「災害時安否確認および緊急時連絡マニュアル」を福臨技ホームページ上にバナーを作成しました。現在の登録会員数は435名です。現在、更なる登録の促しを行っております。

〈その他〉

- ・ 新型コロナウイルスに限定した鼻腔、咽頭からの検体採取講習会および、各PCRの実技講習会を開催しました。

令和2年度 総務部報告

1. 学会、総会関係

第69回日本医学検査学会	現地開催 令和2年9月5日～6日 WEB開催 令和2年10月1日～31日	千 葉 市
令和2年度福島県臨床検査技師会定期総会	令和2年6月27日	福 島 市
令和2年度日臨技定期総会	令和2年6月20日	東 京 都

2. 会議

第1回理事会	令和2年6月27日	福 島 市
第1回総務部会・第2回理事会	令和2年10月24日	福 島 市
第2回総務部会・第3回理事会	令和3年1月23日	福 島 市
第3回総務部会・第4回理事会	令和3年3月6日	福 島 市
第1回検査研究部門長・分野長・生涯教育研修委員会合同会議	令和2年10月17日	郡 山 市
令和2年度日臨技第1回北日本支部幹事会	令和2年12月3日	郡 山 市
日臨技第1回北日本支部内連絡会議	令和3年2月12日	W e b
表彰審査委員会	令和3年3月6日	福 島 市
日臨技第1回理事会	令和2年4月18日	東 京 都
日臨技第2回理事会	令和2年7月4日	W e b
日臨技第3回理事会	令和2年9月4日	東 京 都
日臨技第4回理事会	令和2年12月5日	東 京 都
日臨技第5回理事会	令和3年1月23日	W e b

3. 表彰

秋の叙勲 瑞宝双光章	大花 昇
地域貢献賞	高橋清明
福島県臨床検査技師会功労賞	小関正弘、遠藤 健、馬場弘美
福島県臨床検査技師会学術奨励賞	河合裕美、二木照美、高田佳奈、松下志保、卯月美江、橋本 悟
福島医学検査学会学術賞	菅井美咲
福島県臨床検査技師会 学術論文賞	推薦無し
生涯教育奨励賞	宇佐美千穂、梅原章吾、丹野美咲

4. 役員・業務分掌

役 職	役 割 分 担	氏 名	勤 務 先
会 長	会務全般	山 寺 幸 雄	福島県立医科大学附属病院
副 会 長	技師連盟執行委員 生涯教育担当	柴 田 昭 浩	かしま病院
副 会 長	総務部長・表彰担当	松 田 美 津 子	福島県立医科大学附属病院
常 務 理 事	事務局長	佐々木義和	福島県立医科大学附属病院
常 務 理 事	学術部長	藤 野 高 志	いちかわクリニック
常 務 理 事	精度管理事業部長 基準値共有化委員長	田 村 功	太田熱海病院
常 務 理 事	会計部長	高 田 直 樹	竹田綜合病院
常 務 理 事	広報部長	吉 川 誠 一	公立岩瀬病院
常 務 理 事	渉外・法規部長	黒 崎 幸 子	太田西ノ内病院
理 事	公益法人担当	紺 野 芳 男	公立藤田病院
理 事	渉外・法規担当	阿 部 洋 子	渡辺病院
理 事	公益事業担当	小 林 修 一	坂下厚生病院
理 事	各種表彰推薦担当	滝 澤 貴 叙	星綜合病院
理 事	災害対策担当	野 木 典 久	かしま病院
理 事	公益法人担当	小 林 利 美	福島赤十字病院
理 事	学術担当	高 久 田 美 江	太田西ノ内病院
理 事	精度管理事業担当	渡 部 和 也	会津医療センター
理 事	公益法人担当	山 崎 一 樹	いわき市医療センター
理 事	災害対策担当	佐 藤 恵 美	鹿島厚生病院
理 事	総務担当	三 浦 里 織	福島県立医科大学
監 事(会 員)		齋 藤 市 弘	竹田綜合病院
監 事(会 員)		鈴 木 弘 子	星綜合病院
監 事(会 員外)		馬 場 義 文	福島県医師会

5. 福島県衛生検査精度管理委員

大 橋 一 孝	福島県立医科大学附属病院
吉 田 憲 治	福島赤十字病院
大 内 清 行	公立藤田綜合病院

6. 総務部経過報告

4月7日	福島県立総合衛生学院入学式	福 島 市
6月8日	第1回精度管理委員会	福 島 市
6月20日	令和2年度日臨技定期総会	東 京 都
6月27日	令和2年度福島県臨床検査技師会定期総会	福 島 市
6月27日	第1回理事会	福 島 市
7月30日	第1回福島県衛生検査精度管理委員会	福 島 市
8月17日	第2回精度管理委員会	福 島 市
9月5日～6日	第69回日本医学検査学会	千 葉 市
9月15日	福島県県民健康調査「健康診査」	楡 葉 町
10月16日～17日	メディカルクリエーション福島2020	W e b
10月17日	第1回検査研究部門長・分野長・生涯教育研修委員会合同会議	福 島 市
10月24日	第1回総務部会・第2回理事会	福 島 市

10月30日	第3回精度管理委員会	福島市
11月28日	第4回精度管理委員会	福島市
12月3日	令和2年度日臨技第1回北日本支部幹事会	郡山市
12月21日	福島県登録衛生検査所精度管理ブラインド調査	福島県全域
1月23日	第2回総務部会・第3回理事会	福島市
2月12日	日臨技第1回北日本支部内連絡会議	W e b
2月20日	第2回福島県衛生検査精度管理委員会	福島市
3月6日	表彰審査委員会	福島市
3月6日	第3回総務部会・第4回理事会	福島市
3月14日	第28回精度管理調査事業報告会	福島市

令和2年度 学術部報告

【総括】

・学術部 検査研究部門長・分野長会議

令和2年度の会議(令和2年10月17日(土):福島県立医科大学 7号館(旧光が丘会館))を生涯教育研修委員会と合同で開催しました。参加者は27名でした。会議では、学術部門の主たる活動である研修会の開催等について協議しました。

今年度から遺伝子検査部門が加わり、9部門21分野体制で活動することとしました。研修会・勉強会は各分野長が中心となり年1回以上開催し、できる限り単独での開催を推奨することとしました。ただし、今年度の学術部関連の研修会は、新型コロナウイルス感染防止対策からWEB開催を検討し、開催は必須としないこととしました。

経費の中で講師謝礼および会費徴収においては会計基準に準じて運営していくことが確認され、特に講師謝礼への源泉税加算とマイナンバー記載時の注意点が再確認されました。特に、企画においては日臨技研修会助成金制度を有効に活用し、充実した内容の研修会を開催することとしました。

・県内学術部長会議

今回も合同会議と同日に、各支部との連絡を密にすることを目的として県内各支部学術部長会議を開催しました。県・各支部が円滑な運営ができるよう問題点の提起・改善、WEB研修会(zoom使用)の方法、さらに、福島医学検査学会でのJAMTIS運用方法とその問題点の対策について議論しました。

・研修会

今年度の学術部関連の研修会は、新型コロナウイルス感染防止対策とそれに伴うWEB開催導入準備期間も必要なことから、令和3年3月末時点で共催を含め7回開催されました。そのなかで主催研修会は1回でした。

当会では感染対策の一環としてWEB開催を推奨し、その対応としてZoomを導入いたしました。今までの研修会運用とは異なる部分が有りますが、現地開催と同様な開催になるように対応して参ります。開催に際しては、各部門員・分野員のご尽力と会員各位のご協力に感謝申し上げます。

・第69回日本医学検査学会

当県が担当いたしました第69回日本医学検査学会は、9月に幕張メッセに会場を移して現地・WEB開催となりました。新型コロナウイルス感染対策等万全の準備を実施し、無事終了することができました。ご尽力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

・終わりに

新型コロナウイルス感染が確認されてから一年以上経過しますが、今だ勢いは衰えません。賛助会員・各メーカー・各代理店の皆様におかれましては、このような状況下においても当会学術部活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のご躍進とご多幸を祈念し、学術部総括とさせていただきます。

令和2年度 学術部活動報告

部門・分野研修会

令和2年度 福島県臨床検査技師会生物化学分析部門臨床化学検査分野研修会 (WEB開催)		
分野；免疫血清	開催日時	2021/02/17 18:00～19:00
専門 検体検査-20点	開催場所	WEB開催
	内容	「脂質の基礎とIFCC法の話題」
	講師	服部 和久 (積水メディカル株式会社 学術企画グループ)
	参加人数	会員 57名、学生 0名、非会員 0名

技師会主催事業

令和2年度第28回福島県臨床検査精度管理調査事業WEB報告会		
分野；管理運営	開催日時	2021/03/14 9:30～12:00
基礎 管理運営-20点	開催場所	WEB開催
	内容	一般検査
	講師	橋本 悟 (いわき市医療センター)
	内容	一般検査
	講師	吉田 雅子 (一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院)
	内容	輸血検査
	講師	藤田 沙耶花 (いわき市医療センター)
	内容	輸血検査
	講師	佐竹 奏一 (一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院)
	内容	免疫血清検査
	講師	石幡 哲也 (一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院)
	内容	免疫血清検査
	講師	池下 博子 (一般財団法人 慈山会 医学研究所付属坪井病院)
	内容	微生物検査
	講師	山田 裕輔 (白河厚生総合病院)
	内容	微生物検査
	講師	松本 康歳 (いわき市医療センター)
	内容	生理検査
	講師	渡部 さゆり (一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院)
	内容	生理検査
	講師	金子 亜矢 (福島県立医科大学附属病院)
	内容	臨床化学検査
	講師	蛭田 沙知 (一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院)
	内容	病理・細胞検査
	講師	二瓶 憲俊 (一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院)
	内容	病理・細胞検査
	講師	水野 誠 (一般財団法人 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院)
	内容	血液検査
	講師	鈴木 沙織 (公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター)
	内容	血液検査
	講師	山田 由美子 (医療法人 養生会 かしま病院)
	参加人数	会員183名、学生 0名、非会員 0名

共催研修会

いわき糖尿病療養指導学術講演会2020		
分野；チーム医療 専門 その他-20点	開催日時	2020/09/05 16:00～18:00
	開催場所	WEB開催
	内容 講師	今日から活かせる！COVID-19に配慮した運動療法あれこれ 佐久間貞典（ひろさか内科クリニック）
	内容 講師	糖尿病診療ガイドライン2019、を読む 佐藤 義憲（福島赤十字病院 糖尿病・代謝内科）
参加人数	会員 0名、学生 0名、非会員 0名	
第40回福島県食道癌胃癌研究会		
分野；生理 専門 生体検査-20点	開催日時	2020/09/26 15:00～18:00
	開催場所	コラッセふくしま 5F「小研修室」
	内容 講師	食道癌に対するステント治療(仮) 渡辺 晃（大原総合病院 消化器内科）
	内容 講師	胃癌に対する集学的治療(仮) 木下 敬弘（国立がん研究センター東病院 胃外科）
参加人数	会員 3名、学生 0名、非会員 0名	
第70回うつくしま泌尿器科研究会		
分野；一般 専門 検体検査-20点	開催日時	2020/10/19 15:00～18:00
	開催場所	コラッセふくしま 3F 企画展示室
	内容 講師	最近の排尿障害の話題 松岡 香菜子（福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座）
	内容 講師	下部尿路症状（LUTS）の病態と治療 –基礎研究からの話題– 吉村 直樹（ピッツバーグ大学医学部泌尿器科学教室）
参加人数	会員 5名、学生 0名、非会員 0名	
第5回福島MDS講演会		
分野；血液 専門 検体検査-20点	開催日時	2021/02/19 18:15～19:20
	開催場所	WEB開催
	内容 講師	骨髄異形成症候群(MDS)の形態診断 ～顕微鏡ライブ画像によるアプローチ～ 通山 薫（川崎医科大学 検査診断学教室）
参加人数	会員24名、学生 0名、非会員 0名	
日本輸血・細胞治療学会東北支部 検査技師推進委員会 WEBセミナー		
分野；血液 専門 検体検査-20点	開催日時	2021/02/27 10:00～11:30
	開催場所	WEB開催
	内容 講師	輸血検査の地域連携 ～I&A チェック項目を利用した各施設の検査状況の確認 原 順一（山梨大学医学部附属病院）
	内容 講師	パネルディスカッション 輸血・細胞医療に携わる検査技師の認定習得と今後の連携 1 小山内 崇将（国立大学法人 弘前大学医学部附属病院）
	内容 講師	パネルディスカッション 輸血・細胞医療に携わる検査技師の認定習得と今後の連携 2 郷野 辰幸（東北大学病院）
	内容 講師	パネルディスカッション 輸血・細胞医療に携わる検査技師の認定習得と今後の連携 3 皆川 敬治（福島県立医科大学附属病院）
参加人数	会員 72名、学生 0名、非会員 0名	

第14回福島県糖尿病療養指導士会セミナー WEBセミナー		
分野：チーム医療 基礎 基礎教育-20点	開催日時	2021/03/28 13:30～16:45
	開催場所	WEB開催
	内容 講師	糖尿病患者のために何ができるのか？～患者の思いと私の思い～ 中野 玲子（萬田記念病院）
	内容 講師	笑い与健康について ～コロナ禍における笑いを生かした糖尿病予防・治療～ 大平 哲也（福島県立医科大学医学部疫学講座）
	内容 講師	糖尿病患者におけるシックデイ管理のポイント 吉岡 成人（N T T東日本札幌病院）
	参加人数	会員34名、学生 0名、非会員 0名
後援		
分野：生理 専門 生体検査-20点	開催日時	2021/02/19 18:15～20:45
	開催場所	WEB開催
	内容 講師	一步踏み込んだ超音波検査 ～膵臓～ 幕田 倫子（福島県立医科大学附属病院 検査部）
	内容 講師	急性膵炎発症を契機に発見された膵癌の一例 鈴木 玲（福島県立医科大学 消化器内科学講座）
	内容 講師	膵癌早期診断の最前線 花田 敬士（JA尾道総合病院 消化器内科）
	参加人数	会員3名、学生 0名、非会員 8名

精度管理事業報告

令和2年度 精度管理事業報告

【総括】

一般社団法人福島県臨床検査技師会主催の令和2年度臨床検査精度管理調査は、福島県、一般社団法人 福島県医師会、一般社団法人 福島県病院協会のご後援を受け予定通り進める事が出来ました。本事業は、今回で28回目を迎え、参加施設は、66施設と多くの施設に参加して頂きました。

第28回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会は、このコロナ渦で集合での報告会は開催出来ませんでしたが、令和3年3月14日(日) 福島県立医科大学附属病院検査部カンファランス室を配信本部署、各検査担当委員を支局として、初めてZOOMシステムを利用した報告会を開催いたしました。

8検査の精度管理委員からは、重要事項を中心としたデータの集計報告、評価方法の詳細等が報告され、参加された会員(183名)から多くの質疑応答がなされました。また、コメンテーターとしてご参加頂きました、福島県臨床検査技師会顧問の志村浩己先生からは、各検査へ追加コメント、そしてアドバイスを頂戴し、例年よりも短い時間ではありましたが盛会裡に終わることができました。

最後に、第28回福島県臨床検査精度管理調査事業の実施にあたり、試料の提供にご協力頂きました福島赤十字血液センターをはじめ、各関係施設ならびにメーカー各社に厚く御礼申し上げます。

【精度管理事業経過報告】

第1回精度管理委員会：新型コロナウイルス感染を避けるため集合会議とはせず、Emailによる開催内容の協議を実施した。(配布文書6種)

実施日時：令和2年6月8日(月)

- 議事内容：1. 精度管理委員会の組織体制について
2. 令和元年度の精度管理事業からの申し送り事項
3. 令和2年度の精度管理事業スケジュール等について

第2回精度管理委員会 福島県立医科大学附属病院(検査部カンファランスルーム)参加者24名

開催日時：令和2年8月17日(月) 午前10時00～

- 議事内容：1. 精度管理試料の発送作業と今後の予定について
2. その他

第3回精度管理委員会：集合せずEmailで解析データを集め改修、調整を実施した。

開催日時：令和2年10月31日(土) 統計・解析結果の提出

- 議事内容：1. 各部門の集計結果解析と報告書作成の依頼
2. その他

第4回精度管理委員会 福島県立医科大学附属病院(第2カンファランスルーム)

開催日時：令和2年11月28日(土) 午後1時30分～ 参加者16名

- 議事内容：1. 参加66施設へ報告書の発送作業を実施
2. 第28回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会打ち合わせ

WEB報告会準備のためZOOM会議1回目

開催日時：令和3年1月27日(水) 17時30分より

内 容：ZOOM報告会に向けた各委員のPC等の機能確認と打ち合わせ

開催日時：令和3年2月18日(木) 17時30分より

内 容：ZOOM報告会に向けての録画またはライブ発表の是非についての確認作業を行った。

WEB報告会本番前日会場準備および最終全体リハーサル

実施日時：令和3年3月13日(土) 15時00分より

内 容：配信本部と各委員支局との連携確認および、発表タイミングの調整

第28回福島県臨床検査精度管理調査事業WEB報告会(配信本部：福島県立医科大学附属病院検査部)

開催日時：令和3年3月14日(日) 午前9時00分～午後12時00分 参加者183名

内 容：第28回福島県臨床検査精度管理調査事業における集計結果のWEB報告

病理・細胞検査 委員	二瓶 憲俊	竹田総合病院
副委員	水野 誠	総合南東北病院
副委員	濱屋美樹子	福島県立医科大学附属病院
副委員	佐々木理恵子	太田総合病院附属太田西ノ内病院
渉外担当	大橋 一孝	福島県立医科大学附属病院
外部精度管理委員	吉田 憲治	福島赤十字病院
	大内 清行	公立藤田総合病院
精度管理委員長	田村 功	太田総合病院附属太田熱海病院
副委員長	渡部 和也	福島県立医科大学会津医療センター

組織部報告

令和2年度会員数（令和3年3月31日現在）

継続会員（名誉会員6名含む）	1087名
新入会員（再入会含む）	45名
小計	1132名
賛助会員A（県会員のみ）	0名
合計	1132名
施設数（1名以上）	152施設
賛助会員B	48社

	支部名	施設数	正会員		賛助会員A	支部総会員数
			施設会員	自宅会員		
支部別 会員数	県北支部	43	333	29	0	362
	県南支部	55	361	22	0	383
	会津支部	17	138	3	0	141
	相双支部	10	40	8	0	48
	いわき支部	27	187	11	0	198
	合計	152	1059	73	0	1132

新入会員支部別内訳：合計45名

県北支部 13名 県南支部 19名 会津支部 6名 相双支部 0名 いわき支部 7名
 転入：10名 退会：55名

渉法部報告

- ・理事会議事録作成

広報部報告

- ・福島県臨床検査技師会ホームページ掲載
- ・会誌ふくしま 第58巻（通巻91号） 令和2年6月 1200部発行

生涯教育研修委員会報告

- ・生涯教育対象行事（学会、講習会、研修会等、日臨技推進事業を含む） 11件
- ・第1回生涯教育研修委員会 令和2年10月17日 福島市
- ・生涯教育履修歴は、会員が会員専用ページで確認する
- ・「修了証書」は、日臨技が発行し生涯教育研修課程修了者に送付する

2) 令和2年度会計報告

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	47,000	60,000	△13,000
受取入会金	47,000	60,000	△13,000
受取会費	8,208,000	8,226,000	△18,000
正会員受取会費	6,798,000	6,876,000	△78,000
賛助会員受取会費	1,410,000	1,350,000	60,000
賛助会員B	1,410,000	1,350,000	60,000
事業収益	1,544,998	3,357,999	△1,813,001
研修会事業収益		1,532,000	△1,532,000
精度管理事業収益	1,544,998	1,617,999	△73,001
出版事業収益		208,000	△208,000
受取補助金等	137,220	1,198,100	△1,060,880
病院協会補助金	60,000		60,000
生涯教育助成金	21,500	606,500	△585,000
その他の助成金	55,720	591,600	△535,880
受取寄付金		550,000	△550,000
受取寄付金		550,000	△550,000
雑収益	2,000,100	122,563	1,877,537
受取利息	100	78	22
雑収益	2,000,000	122,485	1,877,515
経常収益計	11,937,318	13,514,662	△1,577,344
(2) 経常費用			
地域保健事業費		1,014,856	△1,014,856
会議費		60,659	△60,659
旅費交通費		497,530	△497,530
通信運搬費		12,166	△12,166
消耗品費		266,358	△266,358
印刷製本費		77,028	△77,028
支払手数料		1,540	△1,540
賃借料		29,790	△29,790
雑費		69,785	△69,785
研修会事業費	157,081	2,511,652	△2,354,571
会議費		54,084	△54,084
旅費交通費	123,270	552,205	△428,935
通信運搬費		2,383	△2,383
消耗品費		66,632	△66,632
印刷製本費		10,500	△10,500
諸謝金	27,636	439,838	△412,202
賃借料		67,970	△67,970
学友費		1,277,610	△1,277,610
支払手数料		1,100	△1,100
雑費	6,175	39,330	△33,155
精度管理事業費	2,370,203	2,894,373	△524,170
会議費	38,096	195,122	△157,026
旅費交通費	353,792	664,778	△310,986
通信運搬費	155,855	147,321	8,534
消耗品費	963,025	907,327	55,698
印刷製本費	566,610	573,960	△7,350
諸謝金	120,685	195,685	△75,000
支払手数料	114,620	111,800	2,820
雑費	57,520	98,380	△40,860
出版事業費	467,280	596,052	△128,772

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	138,930	158,976	△20,046
印刷製本費	328,020	436,752	△108,732
支払手数料	330	324	6
管理費	5,018,622	5,292,399	△273,777
給料手当	612,000	550,800	61,200
福利厚生費	30,296	158,042	△127,746
会議費	19,294	32,543	△13,249
旅費交通費	467,271	685,866	△218,595
通信運搬費	676,215	658,868	17,347
減価償却費	40,407	40,407	
消耗品費	221,161	94,517	126,644
印刷製本費	72,930	105,580	△32,650
賃借料	667,920	667,712	208
租税公課	22,000	22,000	
支払負担金	1,179,700	1,099,800	79,900
支払手数料	661,089	466,010	195,079
雑費	348,339	710,254	△361,915
経常費用計	8,013,186	12,309,332	△4,296,146
評価損益等調整前当期経常増減額	3,924,132	1,205,330	2,718,802
評価損益等計			
当期経常増減額	3,924,132	1,205,330	2,718,802
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	3,924,132	1,205,330	2,718,802
当期一般正味財産増減額	3,924,132	1,205,330	2,718,802
一般正味財産期首残高	8,827,995	7,622,665	1,205,330
一般正味財産期末残高	12,752,127	8,827,995	3,924,132
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	12,752,127	8,827,995	3,924,132

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,008,588	9,876,979	4,131,609
現金	554,659	496,253	58,406
本部	483,132	441,444	41,688
事務局	16,670	18,921	△2,251
総務部	54,857	35,888	18,969
普通預金	10,428,920	9,165,717	1,263,203
東邦/方木田	9,588,310	8,849,562	738,748
東邦/福島医大病院（県事務局）	438,379	92,794	345,585
東邦/福島医大病院支店（精度管理）	52,217	123,350	△71,133
東邦/西の内（総務部）	350,014	100,011	250,003
郵便貯金	3,025,009	215,009	2,810,000
流動資産合計	14,008,588	9,876,979	4,131,609
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
北日本支部学会積立資産	1,940,718	1,940,701	17
財政基盤積立資産	1,984,307	1,984,290	17
災害積立資産	1,460,635	1,460,623	12
特定資産合計	5,385,660	5,385,614	46
(3) その他固定資産			
什器備品	23,573	63,980	△40,407
その他固定資産合計	23,573	63,980	△40,407
固定資産合計	5,409,233	5,449,594	△40,361
資産の部合計	19,417,821	15,326,573	4,091,248
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	6,638,000	6,476,000	162,000
預り金	27,694	22,578	5,116
流動負債合計	6,665,694	6,498,578	167,116
2 固定負債			
負債の部合計	6,665,694	6,498,578	167,116
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	12,752,127	8,827,995	3,924,132
(うち特定資産への充当額)	(5,385,660)	(5,385,614)	(46)
正味財産の部合計	12,752,127	8,827,995	3,924,132
負債及び正味財産合計	19,417,821	15,326,573	4,091,248

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金			
本部	483,132		
事務局	16,670		
総務部	54,857		
普通預金			
東邦銀行 方木田支店 No.233822	9,588,310		
東邦銀行 福島医大病院支店 No.82074	438,379		
東邦銀行 福島医大病院支店 No.149993	52,217		
東邦銀行 西の内支店 No.233332	350,014		
郵便貯金			
ゆうちょ銀行 二一九店	3,025,009	14,008,588	
流動資産合計			14,008,588
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定資産			
北日本支部学会積立資産			
東邦銀行/方木田支店 No.231366	1,940,718		
財政基盤積立資産			
東邦銀行/方木田支店 No.256091	1,984,307		
災害積立資産			
東邦銀行/方木田支店 No.400288	1,460,635		
特定資産合計		5,385,660	
(3)その他固定資産			
什器備品 固定資産管理台帳参照	23,573		
その他固定資産合計		23,573	
固定資産合計			5,409,233
資産の部合計			19,417,821
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金			
令和3年度 正会員会費 6,000円×1,061名	6,366,000		
令和3年度 賛助会員会費 30,000円×6社	180,000		
令和3年度 入会金 1,000円×2名	2,000		
令和3年度 広告料10,000円×7社、20,000円×1社	90,000	6,638,000	
預り金			
公認会計士報酬 源泉所得税	21,441		
講師諸謝金 源泉所得税	6,253	27,694	
流動負債合計			6,665,694
2. 固定負債			
負債の部合計			6,665,694
正味財産			12,752,127

3) 令和2年度監査報告

監査報告書

定款第10章第47条2項ならびに会計規程第21条に基づき、一般社団法人福島県臨床検査技師会の令和2年度の監査を、令和3年4月16日に実施いたしましたので下記の通り報告いたします。

記

1. 運営について

令和2年度定期総会において決定された事業計画の執行については、円滑に遂行されていることを認めます。

2. 会計について

令和2年度の財務諸表は適正であり、現金出納帳はじめ各帳簿並びに各証拠書類の整備及び備品管理は適正に行われていたことを認めます。


3. 意見および要望事項

一般社団法人福島県臨床検査技師会の運営及び会計については順調に遂行されております。

以上

令和3年4月16日

一般社団法人福島県臨床検査技師会
会長 山寺 幸雄 殿

監事 馬場 義文 

監事 齋藤 市弘 

監事 鈴木 弘子 

【第二号議案】

令和3年度 事業計画(案)

1. 学会、各種研修会を開催し会員相互の資質向上を図る。
2. 精度管理事業を積極的に推進し、臨床検査の質の向上を図る。
3. 公益事業を積極的に推進し、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する。
4. 生涯教育研修を企画開催し、医療情勢の変化に対応できる人材を育成する。
5. 日本臨床衛生検査技師会（以下：日臨技）の「精度保障施設認証制度」を推進すると共に、円滑に遂行するための事業活動を行う。
6. 医師の働き方改革による「タスク・シフト / シェアの推進」並びに法令改正に伴う「厚生労働省指定講習会」を開催する。
7. 日臨技と連携し新型コロナウイルス感染拡大防止および検査への協力体制を構築する。
8. 日臨技が所管する「認知症対応力向上講習会事業」等を通し、会員の認知症対応力向上に取り組む。
9. 日臨技と連携し、「病棟」「在宅医療」への職域拡大に向けた活動を行う。
10. 福島県および日臨技等の関係団体と連携し、県民への臨床検査に関する啓蒙活動を展開する。
11. 「県民健康調査」に関わる甲状腺超音波検査の検査要員確保と検査体制への支援により、県民の健康を見守ることに寄与する。
12. ホームページを活用し各種案内の充実化並びに迅速な情報提供を行う。また、災害対策安否情報システムへの緊急時連絡先登録の啓蒙を図る。
13. 計画実現に向け、組織横断的かつ効率的な協力体制を構築し、当会の基盤強化を図る。
14. その他

令和3年度 学術部検査研究部門・分野活動について(案)

令和3年度も、今だ新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況にあり、感染リスクを考慮すると従来のような研修会の開催は不可能です。この感染の収束状況を見据えながら学術部の運営を行います。現在の感染状況からも Zoom を使用した WEB 研修会を推奨してまいります。

多くの会員が“参加しやすい、是非参加したい”と思われるような研修会の企画運営を順次実施してまいります。学術部主催の研修会ははじめ日臨技・北日本支部研修会との連携、関連団体との共催区分の研修会にも積極的に協力していきたいと考えております。

日臨技の研修会助成金制度の活用に関しては、できるだけ多くの研修会が申請できるよう、加えて参加者が多くなるよう準備をしていきたいと思っております。

また、中堅から若手の会員が意欲的に参加できる研修会の企画・運営に努め、将来の担い手となる検査技師の指導・育成にあたる所存です。基礎的な講義から最近のトピックスなどを盛り込んだ座学に加え、新型コロナウイルス感染の状況にもよりますが、初心者から上級者まで検査内容の習熟度の違いに対応した実習形式の研修会も多く企画してまいります。更に、日臨技の認定技師ポイント取得研修会を積極的に企画・申請し、認定技師への支援と新たな有資格者育成など、業務への意欲向上と会員のレベルアップに貢献できるよう支援してまいります。同時に、日臨技が展開している活動にもできる限り連携してまいります。

最後に、昨年度は、Web会議・研修会の為のZoom導入初年度ということもあり研修会・勉強会開催数が例年に比べ少なくなっていました。昨年度末よりZoom使用経験も増えてきておりますので、今年度はZoomを有効活用して参ります。例年以上に会員の皆様のご意見・ご要望を取り入れながら、加え

て各支部との連携を密にして実りある研修会が開催できるよう努めてまいります。必要に応じてZoomの簡単な使用説明会開催も検討しております。

このように、画面上の繋がりになってしまいますが、Web. を利用するZoomを有効活用し、部門間・分野間はもとより、学術活動を通して施設間の交流も深めてまいります。さらに、ホームページを有効活用し、他の学術関連団体からの研修会参加依頼の案内等、情報発信を密にしてまいります。

令和3年度 第29回福島県臨床検査精度管理調査事業計画(案)

令和3年度第29回福島県臨床検査精度管理調査事業は、福島県、一般社団法人 福島県医師会、一般社団法人 福島県病院協会のご支援を受け、昨年同様8検査で精度管理調査事業を実施する予定であります。タイムスケジュール等は、例年とほぼ同時期に実施いたします。

本年度も、日本臨床衛生検査技師会の精度管理システム(JAMTQC)を使用しての参加申込、集計、解析等に使用いたしますので、操作方法の周知、利便性の向上を目指したいと思っております。

医療法等の一部改正に伴う精度管理業務の位置づけは重要性が増し、精度保証施設認証の取得、検査精度の標準化、医療の質確保のために、多くの施設が第29回精度管理調査事業に参加して頂けるよう計画して参りますのでよろしくお願ひいたします。

関係各位の皆様には、昨年同様のご支援、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

【タイムスケジュール】

1. 案内文書、申込要綱の発送・・・令和3年6月21日(月)
2. 申込の締め切り・・・・・・・・・・令和3年7月3日(土)
3. 試料の発送・・・・・・・・・・令和3年7月26日(月)
4. 結果報告の締め切り・・・・・・・・・・令和3年8月6日(金)
5. 集計結果の解析・・・・・・・・・・令和3年10月2日(土)
6. 報告書の発送・・・・・・・・・・令和3年10月30日(土)
7. 精度管理調査事業報告会・・・・・・・・未定
(報告会は、福島県立医科大学の講堂を予定しております。)

【第三号議案】

令和3年度 当初収支予算書(案)

〈収支計算書〉

(単位：千円)

科目名	予算額	前年度予算額	差引増減額	摘要(積算内訳)
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
入会金収入	40	50	△ 10	
入会金収入	40	50	△ 10	@1,000×40人
会費収入	8,370	8,210	160	
正会員会費収入	6,900	6,800	100	@6,000×1,150人
賛助会員会費収入	1,470	1,410	60	@30,000×49社
事業収入	3,370	1,550	1,820	
研修事業収入	1,540	0	1,540	研修会参加費
精度管理事業収入	1,620	1,550	70	精度管理報告会参加費他
出版事業収入	210	0	210	会誌 広告掲載収入
補助金等収入	1,240	142	1,098	
病院協会補助金収入	30	60	△ 30	福島県病院協会事業運営助成金
生涯教育助成金収入	610	22	588	日臨技生涯教育研修助成金
その他の助成金収入	600	60	540	(一社)日本臨床衛生検査技師会
寄付金収入	550	0	550	
寄付金収入	550	0	550	
雑収入	131	2,001	△ 1,870	
受取利息収入	1	1	0	預金利息
雑収入	130	2,000	△ 1,870	
事業活動収入計	13,701	11,953	1,748	
2. 事業活動支出	0	0	0	
地域保険事業支出	1,019	0	1,019	
会議費支出	61	0	61	臨床検査業務見学会他
旅費交通費支出	498	0	498	講習会等参加 旅費、日当
通信運搬費支出	13	0	13	書類送料等
消耗品費支出	267	0	267	講習会等 消耗品
印刷製本費支出	78	0	78	講習会等資料印刷
支払手数料支出	2	0	2	振込手数料
賃借料支出	30	0	30	検査と健康展会場賃借料
雑費支出	70	0	70	その他経費
研修会事業支出	2,517	159	2,358	
会議費支出	55	0	55	研修会 会議費
旅費交通費支出	553	124	429	研修会等 旅費、日当
通信運搬費支出	3	0	3	書類送料等
消耗品費支出	67	0	67	研修会 消耗品
印刷製本費支出	11	0	11	研修会 資料印刷代
諸謝金支出	440	28	412	研修会 講師謝礼
賃借料支出	68	0	68	研修会 会場賃料
学友費支出	1,278	0	1,278	福島県医学検査学会関連費用
支払手数料支出	2	0	2	振込手数料
雑費支出	40	7	33	その他経費

〈収支計算書〉

(単位：千円)

科目名	予算額	前年度予算額	差引増減額	摘要(積算内訳)
精度管理事業支出	2,898	2,374	524	
会議費支出	196	39	157	精度管理報告会
旅費交通費支出	665	354	311	委員会 旅費、日当
通信運搬費支出	148	156	△ 8	資料送料他
消耗品費支出	908	964	△ 56	試薬代他
印刷製本支出	574	567	7	印刷費用
諸謝金支出	196	121	75	講師謝礼
支払手数料支出	112	115	△ 3	精度管理調査費用、振込手数料
雑費支出	99	58	41	その他経費
出版事業支出	597	469	128	
通信運搬費支出	159	139	20	会誌発送料
印刷製本費支出	437	329	108	会誌印刷費用
支払手数料支出	1	1	0	振込手数料
管理費支出	5,359	4,984	375	
給料手当支出	600	612	△ 12	事務局職員 @50,000×12
福利厚生費支出	159	31	128	慶弔等
会議費支出	33	20	13	お茶代他
旅費交通費支出	686	468	218	旅費、日当
通信運搬費支出	659	677	△ 18	電話、ホームページ委託費他
消耗品費支出	95	222	△ 127	事務用品他
印刷製本費支出	106	73	33	会員名簿CD制作費
賃借料支出	668	668	0	事務局家賃 55,660×12 他
租税公課支出	22	22	0	法人県民税
負担金支出	1,110	1,180	△ 70	県北支部 292千円 県南支部 309千円 会津支部173千円 相双支部 128千円 いわき支部 208千円
支払手数料支出	510	662	△ 152	会計業務委託料 432千円、役員変更登記料 70千円
雑支出	711	349	362	表彰者記念品他
事業活動支出計	12,390	7,986	4,404	
事業活動収支差額	1,311	3,967	△ 2,656	
Ⅱ 投資活動収支の部	0	0	0	
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部	0	0	0	
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	1,311	3,967	△ 2,656	
前期繰越収支差額	7,345	3,378	3,967	
次期繰越収支差額	8,656	7,345	1,311	

【第四号議案】

第 53 回福島医学検査学会、令和 4 年度総会開催支部

【第五号議案】

その他

【報告事項】

令和 3 年度表彰者

◆功労賞

県北支部	相田恵美子	大原総合病院
県南支部	原田 仁稔	坪井病院
会津支部	杉原 正人	会津西病院
いわき支部	森 菊夫	いわき市医療センター
相双支部	寺山美恵子	南相馬市立総合病院

◆奨励賞

県北支部	今井美菜子	福島県立医科大学附属病院
県北支部	嶋田 有里	福島県立医科大学附属病院
県南支部	西浦 健太	太田西ノ内病院
会津支部	二本柳洋志	竹田総合病院
いわき支部	高木 賢司	いわき市医療センター

◆令和 2 年度学会学術賞（第 69 回日本医学検査学会より）

演題名「当院健診利用者を対象とした SMI を用いた肝血流の検討」

野木 典久 かしま病院

演題名「測定法の違いによるカルバペネマーゼ非産生 CRE に対するイミペネム MIC の比較検証」

原田 莉衣 福島県立医科大学

演題名「不整脈治療における臨床検査技師の関わりについて」

土田 正孝 太田西ノ内病院

演題名「人工膝関節置換術における FMC を用いた早期血栓症診断の検討」

平井 直人 坂下厚生総合病院

◆令和 2 年度学術論文賞

該当なし

◆生涯教育奨励賞

該当なし